狭山市立広瀬小学校６年　阿部　岳人

『緑あふれる町に』

　みなさんは、東京スカイツリーと聞くと何を思いうかべますか。ぼくは、中の造りのすごさを思いうかべます。たとえば、地震が起きたら、中にふりこのような物があり、それが動くことで倒れるのを防ぎます。ぼくの将来の夢は、そんな設計ができる建築士です。建築士になりたくなった理由は、主に三つあります。

　一つ目の理由は、家などの建物の中の造りや位置を考えることが好きだからです。みなさんは、秘密基地と聞くとわくわくしませんか。ぼくは、自分が住みたいと思うような家を自由に書いたり、秘密基地などを考えることが好きです。こんなことをかきました。設計図に、あたり一面に、木がならんでいて、そこに大きな木があります。その木の上からはしごが垂れ下がっていて、そこを登ると広いリビングがあります。ここは、木からのびる枝に囲まれて、緑があふれる特別な空間です。さらに登ると、展望台があって、遠くまで見わたすことができる、というものです。建築士になれば、それを何百枚も書くようになるはずです。そうしたら、ぼくにとって建築士は、とても楽しい仕事になると思ったからです。

　二つ目の理由は、建物の面積や強度などの細かな計算をすることが好きだからです。みなさんは、面積や体積を求める勉強は好きですか。ぼくは、算数でその単元が今までで一番楽しかったです。建物を造るのには、細かな計算がとても大切になると思います。そんな計算が、建物の色々な場所で使われるなんて、なんてすてきなんでしょう。

　三つ目の理由は、とてもほこりに思える仕事だと思ったからです。ぼくは、人が住むための場所は、昔から人々が暮らす場で、とても大事だと思っています。そんな家の設計ができるのだから、建築士の仕事にやりがいを感じて働ける気がします。それに、建築士になれば、家だけでなくて、東京スカイツリーのような大きな物まで設計できます。そうしたら、建築士の仕事に、すごくほこりに思えると思います。さらに、家にはソーラーパネルを付けたり、木やしばふを増やして、環境に良い家をもっと多くしたいです。そうすれば、さらに建築士の仕事にやりがいが感じられると思います。

　ぼくは、こんな理由で建築士になりたいと思うようになりました。将来ぼくが建築士になったら、町中、草木に囲まれて生活できるような家が並んでいるようにしていきたいです。その家に住んでいる人は、いつも笑顔で幸せたっぷり、そんな設計ができるようにしたいです。今以上に、家などの建物に緑を増やして、町中が緑であふれるようにしたいです。ぼくは、狭山市にもっと草木を増やしたり、環境に良い家を建てられるようにしたいです。きっと二十年後の狭山市は、緑であふれていると思います。